



クリニックは出会いと別れの季節

医師 大竹 要生



皆さんは、私たちの診療所が「家庭医」を中心とした「教育診療所」だということをご存じでしょうか？家庭医とは、子どもからご年配の皆さんまで、ご家族全員をまるごと診る専門医のことで、病気の治療だけでなく健康作りや病気の予防にも力を入れている医師です。

私たちの診療所は、そんな家庭医を目指す医師の育成も担っています。そんな医師は、育成中とは言っても初期研修を終わっていて、診療所の医師の一人として実際に患者さんを担当し、診察から治療方針の立案まで責任を持って関わります。そのため「担当医が変わることがある」「診察時間がいつもより長く感じる」といったご不便を感じられることもあるかもしれません。信頼のおける医師に長く診てもらいたいという当然の思いを考えると申し訳なくも思います。

しかし、教育診療所であることは地域の皆さんにとっても利点があります。新しい医師は最新の医学知識を持ち、診療の質を高めてくれる存在です。経験を積んだ医師でもどうしても独りよがりになり偏った知識にとどまったりする危険があります。だから、教育診療所にいるおかげで、経験を積んだ医師も常に指導や議論を通じて知識や技術を新しくして、よりよい医療を皆さんに提供することが出来ます。



育成医師は地域に根ざした診療所での経験を通じて患者さんとの関係づくりを学び、地域を深く理解する家庭医へと成長します。私たちの診療所で育った医師が将来も各地の地域医療を支えていくことで、この地域の医療の質も保たれ、より安心して暮らせる町作りに繋がります。思い返していただくと、「あの先生、入った頃はまだ若くて大丈夫かな？と思っていたけど、ずっといてくれているな」という医師も思い当たるかと思います。そうなんです、私もここで一から学び始め当初はかなり頼りない医師だったかもしれませんが、もう10年になります（まだ頼りないかもしれませんが…）。



この年度替わりには、また新たに迎える医師もいれば旅立っていく医師もいます。教育診療所であることは、皆さんにとって短期的にはご不便をおかけするかもしれませんが、地域医療の未来を共に育てるという大きな役割を共に担っていただいています。皆さんのご理解とご協力に心から感謝するとともに、これからも地域の皆様と一緒に歩んでいきたいと願っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。





月刊糖尿病ライフ「さかえ」

看護師 宮井 由里子

皆さんは月刊糖尿病ライフ「さかえ」をご存じですか？
糖尿病などのことがわかりやすく表や絵にして説明されており、
とても役に立つ本です。一部を抜粋してご紹介しますね。

糖尿病には1型糖尿病と2型糖尿病があります。

1型糖尿病は、自己免疫疾患などが原因です。膵臓からインスリンほとんど分泌されません。体内のインスリンが足りなくなってしまうので、インスリン注射が必要になります。



2型糖尿病は糖尿病患者の95%といわれており、遺伝的要因に加え、不規則な生活習慣が加わり発症することが多いといわれています。2型糖尿病と肥満はとても関係が深いです。

月刊糖尿病ライフ「さかえ」から一部参考にして書きました。
糖尿病に限らず動脈硬化のことや検査結果のみかた、患者さんの体験談など、たのしい内容になっています。

1冊500円しますが、定期購入だと年間2,400円で毎月お渡しできます。健康に興味のある方ならどなたでも購入が出来ます。

4月が切り替えの時期なので、出来たらそれまでにナースにお声掛け下さい。



～お知らせ～

医師の不在のお知らせ

【3月】

- ・3・17～24・31日…………… 一岡医師
- ・7・8・22日…………… 田中医師
- ・10～14日・21日・25～31日・園医師
- ・15日…………… 中村医師
- ・17～21・24～31日…………… 頼島医師
- ・21～24・27～31日…………… 宇都宮医師
- ・31日(月)…………… 永嶋医師

【4月】

- ・1日(火) 2日(水) 9日(水) …… 一岡医師
- ・7日(月) 28日(月) 30日(水) …… 永嶋医師
- ・9日(水)…………… 山田医師
- ・23日(水)～26日(土)…………… 中村医師



育児相談外来を行っております

毎週金曜日の14:00から育児相談外来(無料)を行っております。
詳しくはホームページをご覧ください。

マイナンバーカードで受付をお願いいたします

受付に2台・かぜ外来に1台マイナ機器を設置しております。
マイナンバーカードでの受付をお願いいたします。



糖尿病教室へのご案内

2月15日の糖尿病教室は17名の方に参加していただきました。
大変好評をいただいております。ありがとうございました。